

## 全国安全対策委員会委員長会議 議事録

日 時 2023年10月28日(土)13:00～15:00

出席予定者 加盟団体安全対策委員長(または代理)

日本スキーパトロール協議会長 遠藤 正

教育本部担当理事

安全対策部 専門委員

### 出席者

運営役員 責任者 富樫泰一(教育本部担当理事)

安全対策部 上杉一哲、川内慎吾、新井和夫、後藤博昭、三神良太、清水哲治、新村昌宏、  
内方陽一、米田幸雄

1. 北海道 安全対策部長 山森智文、副部長 山村 誠
2. 青森県 安全対策委員 工藤雅人
3. 宮城県 安全対策委員長 三神良太
4. 秋田県 安全対策部 大石智恵
5. 山形県 安全対策部委員長代理 高橋弘一
6. 福島県 安全対策部長 遠藤秀明
7. 茨城県 安全対策本部長 高瀬勝則 副本部長 久保田稔
8. 栃木県 安全対策部長 新井和夫
9. 群馬県 パトロール技術員 星野登志夫
10. 埼玉県 安全対策委員長 佐藤俊寿
11. 東京都 安全対策副部長 酒井潤 部長 清水哲治
12. 神奈川県 安全対策委員長 上杉一哲
13. 山梨県 安全対策委員長 林 譲
14. 長野県 安全対策部委員長 新村昌宏
15. 新潟県 安全対策委員長 川内慎吾
16. 富山県 安全対策部長 奥田純
17. 石川県 安全対策部本部長 吉本幸司
18. 福井県 安全対策部事務局 前田初志
19. 静岡県 安全対策委員長 山田俊明
20. 愛知県 安全対策部長 福岡優子
21. 岐阜県 安全対策部専門委員 内方陽一
22. 滋賀県 安全対策部長 長尾卓哉
23. 京都府 安全小委員会委員長 小堀智由
24. 兵庫県 安全対策委員長 米田幸雄
25. 広島県 安全対策委員長 平川朝水
26. 日本スキーパトロール協議会 会長 遠藤正

司会 川内委員長

#### 1 出席者紹介

出席者及び運営役員各自自己紹介をした。

#### 2 資料確認

司会の川内委員長により、配布資料の確認を行った

#### 3 開会宣言 安全対策部部長 上杉一哲

皆様お疲れ様です。

これより2024年度全国安全対策委員長会議を開会いたします。本日はよろしくお願ひいたします。

#### 4 担当理事挨拶 教育本部担当理事 富樫泰一

公益財団法人全日本スキー連盟教育本部理事の富樫です。

本日はシーズン突入直前の重要な時期における会議にご参加いただき誠にありがとうございます。

この会議は、シーズン初めに各加盟団体の安全対策委員長様や日本スキーパトロール協議会会長の遠藤正様にご出席いただいて、スノースポーツの安全対策やスキー場の安全管理等について情報交換するとともにSAJ事業の円滑な運営のため、各種事業に対するご理解とご協力を得る大変重要な場でもあります。

特に今シーズンは、検定関係規程の大幅な改正によって、受検者へのきめ細かな対応が不可欠なことから本会議でお知らせする説明の内容について十分理解されたいうえで養成講習等の実施をお願いします。今シーズンの主な事業としては、検定会は青森県大鰐温泉スキー場、スキーパトロール研修会は長野県志賀高原、兵庫県ハチ高原で開催されます。関係する加盟団体の皆様にはいろいろとご迷惑をおかけしますがどうぞよろしくお願ひいたします。

また来シーズンの発行に向けて新しい教程の制作準備が始まりました。より良い教程となるよう、皆様のご協力をお願いします。

最後になりましたが、今シーズンは昨シーズンを上回るスキー客の増加が予想されることに伴い、スキー事故、傷害の増加が予想されることから万全の準備をお願いします、開会の挨拶とします。

本日はよろしくお願ひします。

#### 5 審議事項

##### (1) 2024年度SAJ教育本部安全対策部事業計画について

上杉部長より資料1について事業計画の説明を行った。

- ・中央研修会については、2年前と同様にスキー、スノーボード、パトロールと分離開催となった。

またスキーパトロール中央研修会は、北海道会場、長野会場の2会場の開催となる。

- ・ブロック技術員研修会は、北海道会場(北海道ブロック対象)、長野会場(東北～西日本ブロック対象)の2会場での開催全国2会場で開催する(北海道及び北海道以外のブロックで分ける)会期は中央研修会と1日ずらして開催することとなる。

- ・公認スキーパトロール検定会について、今シーズンより改正された検定制度の実施が始まる。

会場は1会場で集約開催、会場は青森県大鰐温泉スキー場となりました。改正により受検者の方々にはご不便をおかけするとは存じますがご理解のほどよろしくお願いいたします。

検定制度改正につきましては登録会員数の減少に伴い受検者数も年々減少しており、事業の開催も困難な状況となってきたことから、事業内容の精査を行い、制度の改正をしました。

・SAJ 直轄スキーパトロール研修会です。昨シーズンと同様に東日本会場、西日本会場の 2 会場開催となります。会場と会期は資料のとおりです。また総会は隔年開催のため今シーズンはありません。

・加盟団体主管スキーパトロール研修会です。団体、会期、会場はただいま SAJ へ申請中です。各加盟団体安対委員会の皆様には引き続きご協力をお願いいたします。

・最後に、研修課題等の撮影です。これは今シーズン SAJ ホームページから掲出される受検者ハンドブックへスノーボードを活用したパトロール育成のための検定会実技要領として作成予定です。

また併せて新教程のスクール写真や動画撮影も兼ねる予定です。

以上で2024年度安全対策部事業計画となります。

続きまして、事業計画に係る補足事項の説明です。

・検定会について

ひとつ目は事項全般です。

理論試験は、昨シーズンと同様にマークシート方式で試験時間は 60 分となります。

また合否の判定基準が改正されています。現行では 100 点満点で 70%以上が合格であったものが、60%以上が合格となります。

雪上実技につきましても改正しました。

改正前では、基礎種目「プルークボーゲン」「横滑り」「片開きプルーク」「パラレルターン小回り」「フリー滑走」の 5 種目、搬送種目「浅回り搬送」「大回り搬送」「真下搬送」の 3 種目、計 8 種目でした。

それを基礎種目「プルークボーゲン」「横滑り」「パラレルターン小回り」「パラレルターン大回り」の 4 種目に、搬送種目「制限搬送」「真下搬送」の 2 種目、計 6 種目に改正しました。

この実技の要領につきましては、受検者ハンドブックや SAJ ホームページ掲出の映像をご覧いただければと思います。

また片開きプルークと救急法テスト、ロープ操法テストは養成講習で講習内検定とし、検定会では実施しません。

2つ目は会期です。

先ほどもご説明させていただきましたが、2 日間というタイトなスケジュールとなります。

具体的なスケジュール案としては、1 日目で実技全てを実施、2 日目午前に理論テスト、午後に合格発表の予定と事業要項ではご案内しています。

3つ目は申し込み要件の特例措置です。

今シーズンの特例措置と同様の扱い「赤十字ベーシックライフサポーター認定証」取得とします。

また新検定受検に伴う移行措置については、検定規程改正に伴い新検定を 2024 年度から実施することにより、同規程改正前の養成講習修了受検者に対して、講習内検定種目が未実施となることから、この未実施分を検定会会期中に実施します。要領は「受検者ハンドブック」公認スキーパトロール検定及び養成講習の実施要領別表④・⑤・⑥を参照していただきます。

加盟団体におかれましては、該当する受検者の把握をしていただき、検定会会場へロープ・三角巾を

持参するよう指示をお願いいたします。

最後は 2021 年～2023 年合格者でまだ救急員認定証未取得の人の扱いです。

各加盟団体へお願いです。地元の合格者へ取得に関する指導をお願いします。

また養成講習未了者についても研修会を連続受講ということができていないと思われ、こちらも併せて対象者の把握と受講を促してください。

以上で事業計画の補足事項の説明を終了させていただきます。

「審議事項1について承認された」

(2) SAJ 教育本部安全対策部研修課題 ハンドブックについて

上杉部長が資料 2 について事業計画の説明を行った。

2024年度については、お手持ちの「2023 年度 SAJ 教育本部研修課題ハンドブック」を活用していただきたいと思います。内容に変更ございません。

「審議事項 2 について承認された」

(3) 2024SAJ 教育本部「受検者ハンドブック」について

上杉部長が資料 3「受検者ハンドブック」について画面を用いて説明した。

受検者ハンドブックは、今シーズン新しいものが出来上がり、養成講習や検定に関する事項を記載してあります。公認スキーパトロール受検養成講習に活用して欲しいと思います。

また内容について、実技テストにおいて、「パラレルターン大回り」「横滑り」「制限搬送」の変更した種目の実施要領の説明が記載されています。

※印になっている「特例措置」「受付等の年月日」の記載されていないことの詳細は、2024年安全対策部事業要項を参照いただければと思います。

以上で「受検者ハンドブック」についての説明とさせていただきます。

「審議事項 3 について承認された」

(4) 各加盟団体からの審議事項について

「事前審議事項の申請は無く、質疑無し」

(5) その他

特に無し。

## 6 報告事項

(1) 各加盟団体報告について

出席している加盟団体が 2023 年度事業報告を発表した。

(2) 2023 年度安全対策パトロール部事業報告について

上杉部長が資料 6 について事業報告の説明を行った。

報告の中、データ未収集の加盟団体主管のパトロール研修会について、追加報告として各加盟団体（北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、東京都・神奈川県、山梨県、長野県、滋賀県、石川県、富山県）の各加盟団体 16 団体 21 事業が実施され、総申し込み者数 480 名でした。

以上で「2023年度安対事業報告」についての説明とします。

(3) その他

次の質問等がありました。

**【質問 1】 埼玉県スキー連盟佐藤委員長**

- ① 検定会の関係で、講習内検定の関係で3種目とも不合格となった場合についてはどのような対応をすれば良いか。
- ② 検定の申込みの関係で、「申込み時必要書類」で昨シーズンは「養成講習修了見込み届」を提出となっているが、受検者ハンドブックでは加盟団体長名で養成講習修了見込み書(A4判、様式自由)とあるが、この対応についてどうなっているか。

**【回答 ①】川内委員長**

12月に開催される、ブロック技術員研修会において、講習内検定は合格3種目全ての合格をもって養成講習の修了並びに修了証発行の旨を伝達予定です。よって、養成講習修了証を検定会受付時に提出した受検者全員が講習内検定に合格されたものとして受付します。

しっかりと講習中の指導をお願いします。

**【回答 ②】上杉部長**

ハンドブック内の文言につきましては、様式の統一となったことから、SAJホームページの最初に訂正についてのお知らせを掲出しました。訂正後の内容は「赤十字救急法救急員又は赤十字ベーシックライフサポーター、救急Ⅰ課程以上を取得見込みの場合は、赤十字・消防関係資格取得見込み届(別添様式参照)」と「受検年度に養成講習修了見込みの場合は、養成講習修了見込み届(別添様式参照)」となっています。これを受検者がダウンロードして対応してもらうこととなっています。

ホームページで訂正後の文言をご確認ください。

「佐藤委員長 ①、②について了承した」

**【質問 2】 広島県スキー連盟平川委員長**

昨シーズンの委員長会議で言及した、スノーボードやテレマークでの受検についての進捗状況について教えてほしい。

**【回答】 上杉部長**

事業計画の説明でスノーボードの検定種目の撮影を行うとお話しましたが、スノーボードによるスキーパトロール受検に向けて進めています。単に検定だけではなく、スノーボードを使用した研修会や養成講習会の実施方法等も十分調整していく必要があるため、しっかりと決めごとを作るため慎重に進めている。またテレマークでの受検については、一度に全部を実施するというより、一つ一つしっかりと決めていく必要があるため、今回は見送ることとします。

「平川委員長 了承した」

**【栃木県スキー連盟 新井委員長より情報提供事項】**

昨シーズン、栃木県内のスキー場でスキーヤーとスノーボーダーの衝突事故が発生し、スキーヤーはSAJ1級を所持していた。スキーヤーが後方から衝突したということで、過失傷害罪を警察が立件できるか、県連へ意見聴取があった。このような事故で過失傷害罪になる案件が全国的に出てくる可能性があることを情報として提供する。前方不注意としての過失責任か？との質問にたいして、前方不注意より相手がけがをしたことの結果責任についての刑事責任追求の方向で進んでいるとのこと。後方から来てぶつかったということの起訴内容としているとのこと、今後も県連への意見聴取がある。内容はスキーにはどのような資格があるのか等の意見聴取である。ここに参加している皆さんのところも何時こ

のような事故による事例が出てくる可能性があることから、注意をすべきと思う。以上情報提供します。

**【質問 3】 岐阜県スキー連盟 内方安対委員**

検定会合格者へ養成講習未修了の場合、研修会は SAJ 直轄研修会でなければならないか？

**【回答】 上杉部長**

特に SAJ 直轄、加盟団体主管は問わない

「内方委員 了承した」

**【上杉部長より】**

最後に事業要項へ記載されている中で、いろいろ規程の改正があったので、受検者が困惑しないようよく内容を確認し伝えてほしいと思います。例としまして、検定会受付時には公的本人確認書類(運転免許証、パスポート、マイナンバーカード、健康保険証のいずれか1点)が必要となるなどがあります。

**【日本スキーパトロール協議会 遠藤会長より】**

毎年のことですが、JSPA 総会の報告ということでお礼申し上げます。

今年の第 51 回 JSPA 総会は 8/26-27 広島県安芸で開催されました。鳥取県以来 10 年ぶりの西日本での開催。広島県スキー連盟会長、理事長を来賓として迎え、盛大に開催できました。

ありがとうございました。

来年の第 52 回 JSPA 総会は長野県蓼科で開催されます、皆様のご参加をお待ちしています。

また毎年検定会では JSPA の役員がお邪魔しSAJのご配慮により入会手続きをさせていただいております。ありがとうございます。

今後ともパトロール協議会をよろしくお願いいたします。

**7 閉会宣言 安全対策部副委員長 新井和夫**

皆さん大変お疲れさまでした。これで全国安全対策委員長会議の閉会を宣言します。

以 上